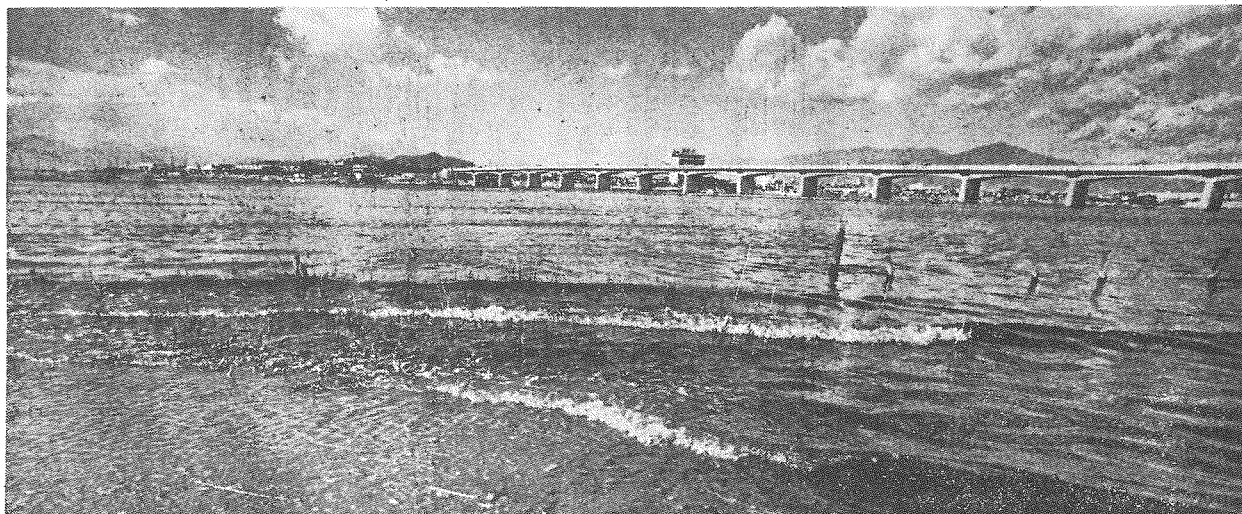


広報ひらつか

№279 (1月号)

昭和50年1月15日 / 神奈川県平塚市役所発行 / 編集・企画部広報課 / 電話(22) 1700-代表
毎月15日 / 74,000部 / 全世帯配布(一部5円) / 昭和31年10月3日 第三種郵便物認可 郵便番号254



私たちの相模川

平塚は、相模川の沖積地である。相模川は古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。

相模川は、古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。

相模川は、古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。

相模川は、古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。

取りもどそう

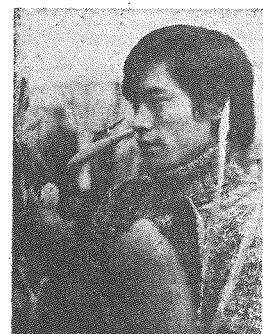
すきとおった水

相模川の水は、古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。

相模川の水は、古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。

相模川の水は、古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。

相模川の水は、古くからこの地に大きな恵みを与えてきた。その恵みは、農業、工業、生活用水など、あらゆる面で利用されている。その利用の歴史は、古くからある。その歴史を、この号を通じて、私たちの相模川について、詳しく紹介する。



種菜鳥花の栽培に打ち込む新藤さん

新藤さんは、平塚市青年団協議会理事長を務めています。彼は、平塚市の発展と青年の成長のために、様々な活動に取り組んでいます。特に、農業の振興と環境保護に力を入れています。彼の活動は、多くの人々を感動させています。彼の活動の成果は、平塚市の発展に大きく貢献しています。

平塚市青年団協議会理事長 新藤政広さん。彼は、平塚市の発展と青年の成長のために、様々な活動に取り組んでいます。特に、農業の振興と環境保護に力を入れています。彼の活動は、多くの人々を感動させています。彼の活動の成果は、平塚市の発展に大きく貢献しています。

平塚市青年団協議会理事長 新藤政広さん。彼は、平塚市の発展と青年の成長のために、様々な活動に取り組んでいます。特に、農業の振興と環境保護に力を入れています。彼の活動は、多くの人々を感動させています。彼の活動の成果は、平塚市の発展に大きく貢献しています。

住みよいまちづくり

市民福祉を重点

一般會計百五十五億円

予算のうごき

予算内容を見てみよう

般會計

九月末までの補正予算

百五十五億八千百

人をみると、市税や

自主財源が百二十五億

で、全校の「一」を

十億三千万円で一九四

久
名

諸収
20.5

54
円
債
の他

8,10
万
市
そ

55
日・泉
出金

1. 国支

1

Category	Percentage
普通建設事業費	38.1%
公共債費その他	7.7%
その他	5.2%
物件費	7.7%
人件費	32.0%
消費的経費	14.9%
扶助費その他	8.7%
計画的経費	38.7%
その他 (small)	0.6%

歳出
1,558,164 万円

監督と行財政。すなわち、市基
礎の整備、教育、文化、経済、社会
の振興、生活環境の向上、一層経済
の発展、重点して、数回にわた
る市政正統の刷新を経て、市の方
針を決定し、市民と協力するに
て、これらの事業を積極的推
進するべきとされた。

〔二〕統計

予算額は四十二億八千四百
四十四円、歳入は四十二億
三千万円、収入は三〇・八
億、歳出は四十二億九千九百
三十三万八千九百六十六円と
なり、歳入超過は九千九百三十三
万八千九百六十六円と、市基
礎の整備、教育、文化、経済、社会
の振興、生活環境の向上、一層経済
の発展、重点して、数回にわた
る市政正統の刷新を経て、市の方
針を決定し、市民と協力するに
て、これらの事業を積極的推
進するべきとされた。

また、税關開設地（第一コーナー）
一ノミナト新築事業などの実
績をほかの市に示し、西の
前年と比較し、売り上げた西
が増加し、一般計繰り出た
収益金は千九百九十九万
投資、格段に功を奏し、諸事への
達成、大きな功を奏した。

▼國民教育振興委員会
歳入は三十一億三千三百
円、歳出は三十一億九千九百
三十三万八千九百六十六円と
なり、歳入超過は九千九百三十三
万八千九百六十六円と、市基
礎の整備、教育、文化、経済、社会
の振興、生活環境の向上、一層経済
の発展、重点して、数回にわた
る市政正統の刷新を経て、市の方
針を決定し、市民と協力するに
て、これらの事業を積極的推
進するべきとされた。

▼都市交通事業会計
歳入は三十一億三千三百
円、歳出は三十一億九千九百
三十三万八千九百六十六円と
なり、歳入超過は九千九百三十三
万八千九百六十六円と、市基
礎の整備、教育、文化、経済、社会
の振興、生活環境の向上、一層経済
の発展、重点して、数回にわた
る市政正統の刷新を経て、市の方
針を決定し、市民と協力するに
て、これらの事業を積極的推
進するべきとされた。

昭和48年度に行った主な事業費 (単位万円)	
交通安全対策事業	3,353
水質自動監視装置設置事業	1,679
総合福祉センター新築事業	11,616
若草保育園新築事業	5,250
仮大保健体育館設備事業	2,385
粗大ごみ回収処理施設建設事業	17,068
こも取集水圏整備事業	1,835
公共下水道処理入施設設置事業	2,411
農業対策事業	6,165
産業振興事業補助金	7,526
畜産振興事業補助金	4,415
土地改良事業	15,997
道路新設改修事業	44,618
橋りより新設改良事業	12,848
河川、排水路整備事業	29,155
街路事業	30,124
都市下水道整備事業	37,643
公園整備事業	7,529
公営住宅建設事業	25,491
はちの川沿河川ポンプ自動車等整備事業	3,918
大野出排水庁舎新築改築事業	2,760
第8分団庁舎用地取得事業	2,310
小学校整備事業	165,855
中学校整備事業	85,519
幼稚園整備事業	7,581
公民館整備事業	5,524
文化センター整備事業	4,235
体育施設整備事業	4,249
学校給食調理場整備事業	1,492

別会計	○
会計の九月末の予算額は次	
○労働費会計	百四十七億五千
百円	
○健康保険事業会計	十三億
百円	
市市政道事業会計	十一億九千
百円	
本事業会計	十六億二千八
百円	
建設費事業会計	五十四億
百円	

的な財政運営

建設事業に六十四億円

た。本市も、こうした経済情勢の中
にある、年間間の財源減衰にあ
つては極めて肉痛な状況であ
ることは極めて明白である。

たわけが、幸ひにして、簡便の
改正によって、市の、伸長と、強
固な利益の上昇を、支へられ
て、経済情勢の、業計問題、基

▼設備事業会計 本市の財政大
きき高から見て設備事業は、歳
入決算額が百十三億千七百
円、増減決算額が百十三億千

五百円は増年度に繰り繰りた。
主たる事業内は別のとおり
（特別記）

[illegible]

出では、人件費を中心として、経費が六十九萬三千三百円、全体の四割、土木費など、資材の経費が六十萬七千九百九十九円、これに指費、経費が、経費を占めるかたとなり	▽復興土木に直接関係事業会計 千八百五十万円 ▽交通貨物共済事業会計・二三 百円 ▽水産物船卸卸売市、事業会計 一億二千四百五十万円
り二万五千六百円は、修費、扶助費、公費など	収支の状況 九月末、一般会計と比べると、文 割が八割に迫る中で、文

市有財産

市有財産は、前年度に比し、三萬六千九百圓の、増額（三月末現在）を以て増大なりと認めらる。市有地は、前年度に比し、四萬六千六百圓の増加となつてゐる。市有鐵道は、前年度に比し、三十三萬圓、市債は、三十一萬六千三百三十一圓となつてゐる。

市有財産

市有財産は、前年度に比し、三萬六千九百圓の、増額（三月末現在）を以て増大なりと認めらる。市有地は、前年度に比し、四萬六千六百圓の増加となつてゐる。市有鐵道は、前年度に比し、三十三萬圓、市債は、三十一萬六千三百三十一圓となつてゐる。

県入 沼田、吾妻市の全区の
 区調整事業について引き続き
 工下、建築修繕をはじめ、街路
 の整備、宅地造成等、事業の
 推進に努めた。この結果、個人入
 額は五千円以内、繰出決算
 額は八億九千九百円になった。
 入決算金額 一億四千三百円
 下決算金額 一億四千三百円

衛生 民 土 教 養
 として、千三百円を支出した。
 ・栄光賞賞額 千五百円
 ・緑化賞賞額 千五百円
 ・水郷地帯の equal 奨励賞金
 千五百円
 ・個人入賞額 千七百円
 ・繰出賞額 八百万円

病院費用 14 億 円
 決 算

が、国の需要抑制政策影響によ
 り施工に遅れがもたらされた。
 上 期

四月、日から九十三日までの期間のうちに、我が国に於ける財政状態を公表せしむるに、いまだなく、我が国に於ける財政に於ては、何れも、國庫ののち編みかけを機として、異なるといふ。政府においては、金貨と、財政の支拂にわたるべきもの、また、物価の高騰に於ける強硬のものがあつて、本邦の財政も非非常な打撃を受けることと迫られたが、國庫の特種預金の確保、既得利益の節約等により「明い盡く」とし、金貨市場を通過して、買入の諸國の手に渡すものと、その財政状態を通過して、市政の形態を整理し、憲法精神を實現し、議會で諸君を責むるに、

事業制に突進するもの等が考えられる。ただし、予算の裏付けのバランスは若干打乱し好む状態になっており、今後の事業の進捗についてに積極的な交通事業の促進をはかり、経費の動向に注意徹底し予算の完結をはかる。

又入
 税
 総額
 生
 主
 水
 育
 費
 総額

(単位千円)

0 1 2 3 4

福祉を重点
般会計百五十五億円

支出ともあまりかわらない。
しかし、特別会計は収入割合が四三割、支出割合が三割で昨年同期からみると、収入は一八割、支出で一七割をそれぞれ大きく下回っている。これは昨年度の最

千	5	6	7
---	---	---	---

昭和
45年度
47年度
49年度

気軽に利用してください

市民相談室／市役所 ☎(22) 1700

一般法律相談・弁護士・毎月第3火曜日・13時～16時（人数制限有）
 人権法律相談・人権擁護委員・毎月第1土曜日・13時～16時
 行政苦情相談・行政相談員・毎月第1土曜日・13時～16時
 登記相談・司法書士・毎月第2金曜日・13時～16時
 宅地建物相談・弁護士・毎月第1金曜日・13時～16時（人数制限有）
 心配ごと相談・民生委員・毎月第1、第3月曜日・9時～15時
 高齢者職業相談・県社会福祉協議会職員・毎週水曜日・5時～16時
 発達相談（特許）相談・弁護士・毎月第2週目の月曜日・10時～15時
 下請取引巡回あっせん・県工業振興会職員・毎月第3木曜日13時～16時
 消費生活相談・消費生活コンサルタント・毎週水曜日・9時～15時

教育研究所相談室

教育相談・教育研究所職員・月曜日～金曜日・9時～15時
 ○受付時間の書いてあるものは相談開始時間から受付

福祉事務所相談室

母子相談・母子相談員・平日、9時～15時30分・常設
 家庭児童相談・家庭児童相談員・平日、9時～16時・常設

青少年相談室／青少年課内

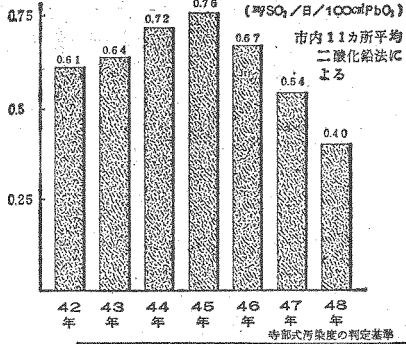
青少年相談・青少年相談員・平日、9時～16時・常設

県民相談室／湘南地区行政センター ☎(22) 2711

教育相談・毎週水・木・金・土曜日・9時～17時
 交通事故相談・毎週水曜日・10時～16時（8時半受付）
 宅地建物相談・毎月第1金・10時～16時（8時半受付制限有）
 法律相談・毎月第2、第3、第4金曜日・13時～16時
 （8時半受付人数制限有）

内科相談・毎週火曜日、木曜日・9時～16時
 高齢者職業相談・毎月第1、第3木曜日・10時～15時
 交通事故相談・毎週月・10時～16時・場所交通安全協会内、

いおう酸化物濃度の変化



汚染度	平均SO ₂ /日/1000PbO ₂ の値	評価
汚染第1度	0.5以上 ~ 1.0未満	軽微な汚染
汚染第2度	1.0以上 ~ 2.0未満	普通度の汚染
汚染第3度	2.0以上 ~ 3.0未満	中等度の汚染
汚染第4度	3.0以上 ~ 4.0未満	やや高度の汚染
汚染第5度	4.0以上	高度の汚染

この判定基準による汚染度が3度以上の場合はとくに警戒する必要があるとされている。

平塚の空は？



国道129号線から繁華街を望む

いおう酸化物濃度は減少 窒素酸化物はいぜん問題

▼ 冬場、空気の汚染がひどい。スモッグがかりの光景が、平塚市街に現れている。これは、いおう酸化物濃度の減少と、窒素酸化物の増加によるものである。

▼ スモッグの原因は、いおう酸化物の減少と、窒素酸化物の増加によるものである。平塚市では、いおう酸化物の濃度が減少しているが、窒素酸化物の濃度は増加している。

▼ 平塚市では、いおう酸化物の濃度が減少しているが、窒素酸化物の濃度は増加している。これは、平塚市の工業地帯の拡大によるものである。

▼ 平塚市では、いおう酸化物の濃度が減少しているが、窒素酸化物の濃度は増加している。これは、平塚市の工業地帯の拡大によるものである。

大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件
二酸化いおう	1日平均値が0.04PPm以下であり、かつ1時間値が0.1PPm以下であること
一酸化炭素	1日平均値が10PPm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20PPm以下であること
二酸化窒素	1日平均値が0.02PPm以下であること
光化学オキシダント	1時間値が0.06PPm以下であること

排水設備の技術試験

平塚市では、排水設備の技術試験を実施している。これは、排水設備の性能を向上させるためである。

平塚市では、排水設備の技術試験を実施している。これは、排水設備の性能を向上させるためである。

平塚市では、排水設備の技術試験を実施している。これは、排水設備の性能を向上させるためである。

広告主を募集

16日から駅前地下道広告板の募集を開始しています。これは、駅前地下道の広告スペースを有効活用するためです。

16日から駅前地下道広告板の募集を開始しています。これは、駅前地下道の広告スペースを有効活用するためです。

16日から駅前地下道広告板の募集を開始しています。これは、駅前地下道の広告スペースを有効活用するためです。

昭和48年度調査結果

測定所	年平均値 (PPm)	1時間値が0.1PPmをこえた回数	1日平均値が0.04PPmをこえた回数
平塚市役所	0.039	0.023	5 (1.5%)
県庁(横浜)	0.040	0.035	66 (31.4%)
藤沢市役所	0.023	0.022	17 (5.1%)
小田原市役所	0.015	0.014	0 (0.0%)

表② 二酸化窒素 (NO₂)

測定所	年平均値 (PPm)	1日平均値が0.02PPmをこえた回数
平塚市役所	0.031	275 (80.6%)
県庁(横浜)	0.042	286 (87.5%)
藤沢市役所	0.041	116 (34.7%)
小田原市役所	0.027	0 (0.0%)

表③ オキシダント (O_x)

測定所	年平均値 (PPm)	1時間値が0.06PPmをこえた回数
平塚市役所	6.027	1004 (11.7%)
県庁(横浜)	0.037	597 (7.2%)
藤沢市役所	7.027	646 (7.7%)
小田原市役所	0.037	1012 (11.9%)

表④ 一酸化炭素 (CO)

測定所	年平均値 (PPm)	1時間値が10PPmをこえた回数	8時間値が20PPmをこえた回数
平塚市役所	3.3	2.9	0
県庁(横浜)	4.8	4.8	0
藤沢市役所	2.7	2.6	0
小田原市役所	2.3	1.8	0

50年代の日本経済の展望と予測

(原産品の世界的供給不足と日本経済)

新春経済講演会

- ◇講師 NHK解説委員 中村泰治郎氏
- ◇とき 1月20日(月)午後2時から
- ◇ところ 朝日生命平塚支社ホール (附設小西となり)



入場無料

共催 果農工事務所・平塚市・平塚商工会議所

第22回

新年婦人のつどい

◇とき 1月30日(木)

午前9時30分～午後3時

◇ところ 市民センターホール

- ◆催し物・婦人の主張 5名
- 講演「資源と暮らし」東京工業大学教授 岡部純
- 芸能、乙女文芸、コーラス、民謡



足交通止め

口から一か月間
 内蔵の通達は、現在、小由郷朝
 にはあるが、事故による、通は
 りを妨げるものがある。
 交差になる自由郷朝り等
 のについては、若者等は時
 通れも三つの歩道板設けら
 れる。

選挙になつても出来なげ
 つたこともあつたと思ふこと
 ではない。かえつ交通支障
 になり時間がかかるので、から
 ずして同じくしないがよい。

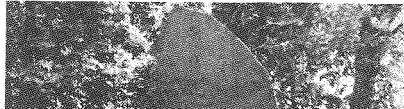
共同募金

おかげさうございませ
 う。十月に於ては共同募金
 運動で、市民のみなさんの芳
 名を募集する機会があつた。

新平塚風土記

225 高瀬 慎吾

片岡の人たちが通てゐる御拝土道の碑



てんかんとけいれん(一)

と正兄の妹である。この少女が、

『留阿幸助報徳論集』（昭和11年6月、中央報徳会発行）に、二宮尊徳（1787-1856）にしばしば面接した一少女の物語が載っている。

相模國大田郡片岡村（現在平塚市片岡）の名主（なぬし）大沢市左衛門（？-1843）は、疲弊農産の再生に思いを致し、その子息大沢輔一（1811-1899）、政吉（のちの福住正兄、1824-1892）とともに二宮尊徳の報徳教をつよく信奉したので、片岡村のいまでもなく、付近の村々のごところある人々々が近年に報徳仕法の興絶に力をそそぐようになった。

そのために二宮尊徳は、ある時は相談にあずかり、ある時はその指導のためしばしば片岡村に足をのばし、同行同志のために熱心な鞭撻をおこなわれた。

二宮尊徳の来村はあらかじめさき触れられて知らされていたので、村民たちは所定の時間にな大沢家に集合して待ち受けていた。大沢家には、いね（1829-1911）という少女がいた。これは大沢輔一